

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路 一般国道 253号 三和安塚道路	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県上越市三和区広田 至：新潟県上越市安塚区松崎	延長	9.4km		
事業概要					
<p>三和安塚道路は、上越地域と魚沼地域を相互に連絡し、両地域および北陸自動車道、関越自動車道、上信越自動車道を結びつける広域ネットワークを形成する延長約60kmの地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成する道路である。</p> <p>当該地域は高速道路網空白地帯であり、上越市と十日町方面を結んでいる現道の一般国道253号は交通が集中し、通過交通と域内交通が混在している。さらに、豪雪地帯であることから冬期間は堆雪により円滑な交通の確保が困難となっている。また、周辺に同程度の迂回路が存在しないため、交通事故やスタック等の交通障害発生時の影響は大きいものとなる。</p> <p>本事業は、このような状況を解消すべく、高規格幹線道路を補完し、円滑な交通確保、地域相互の交流促進、安全・安心な道路ネットワークの確保を目的とした道路整備事業である。</p>					
H9年度事業化	都市計画決定なし	H10年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	約437億円	事業進捗率	約71%	供用済延長	4.7km
計画交通量	9,900~12,600台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.01 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 93/617億円 事業費：90/610億円 維持管理費：3.6/7.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 302/624億円 走行時間短縮便益：232/488億円 走行経費減少便益：58/114億円 交通事故減少便益：12/22億円	基準年 令和2年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=0.98~1.04 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.1~3.3 (交通量±10%) 事業費：B/C=0.99~1.03 (事業費±10%) 事業費：B/C=2.9~3.6 (事業費±10%) 事業期間：B/C=0.92~1.10 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.0~3.4 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①地域間のアクセス性向上 隣接する直轄施工区間と連携し、道路機能が高い路線に交通が転換することで上越地域～魚沼地域間における円滑な交通が確保される。</p> <p>②観光アクセスルートの機能強化 上越市・十日町市・南魚沼市に点在している観光地へのアクセスルートの機能強化により観光産業の発展が期待される。</p> <p>③冬期間の安全で円滑な交通の確保 豪雪地帯での冬期間の安全で円滑な交通の確保に寄与する。</p> <p>④第三次医療施設等へのアクセス向上 新潟県立中央病院など、第三次医療施設へのアクセス向上における救命率の向上が期待される。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
上越市をはじめとする関係3市2町の首長で構成される「上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会」が組織されており、早期整備、供用の強い要望がある。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月、上越市水族博物館「うみがたり」リニューアルオープン ・平成31年3月、上越三和道路 寺IC～鶴町IC (L=3.0km) 区間を供用開始。 ・令和元年12月、県立武道館竣工 (三和安塚道路と隣接する上越三和道路沿線) ・令和元年12月、上信越自動車道 (信濃町IC～上越JCT) 4車線開通 					

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地取得率約99%、事業進捗率約71%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、橋梁、トンネル等の工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

今後も建設発生土の転用等により、資源の有効活用とコスト縮減に努めていく。

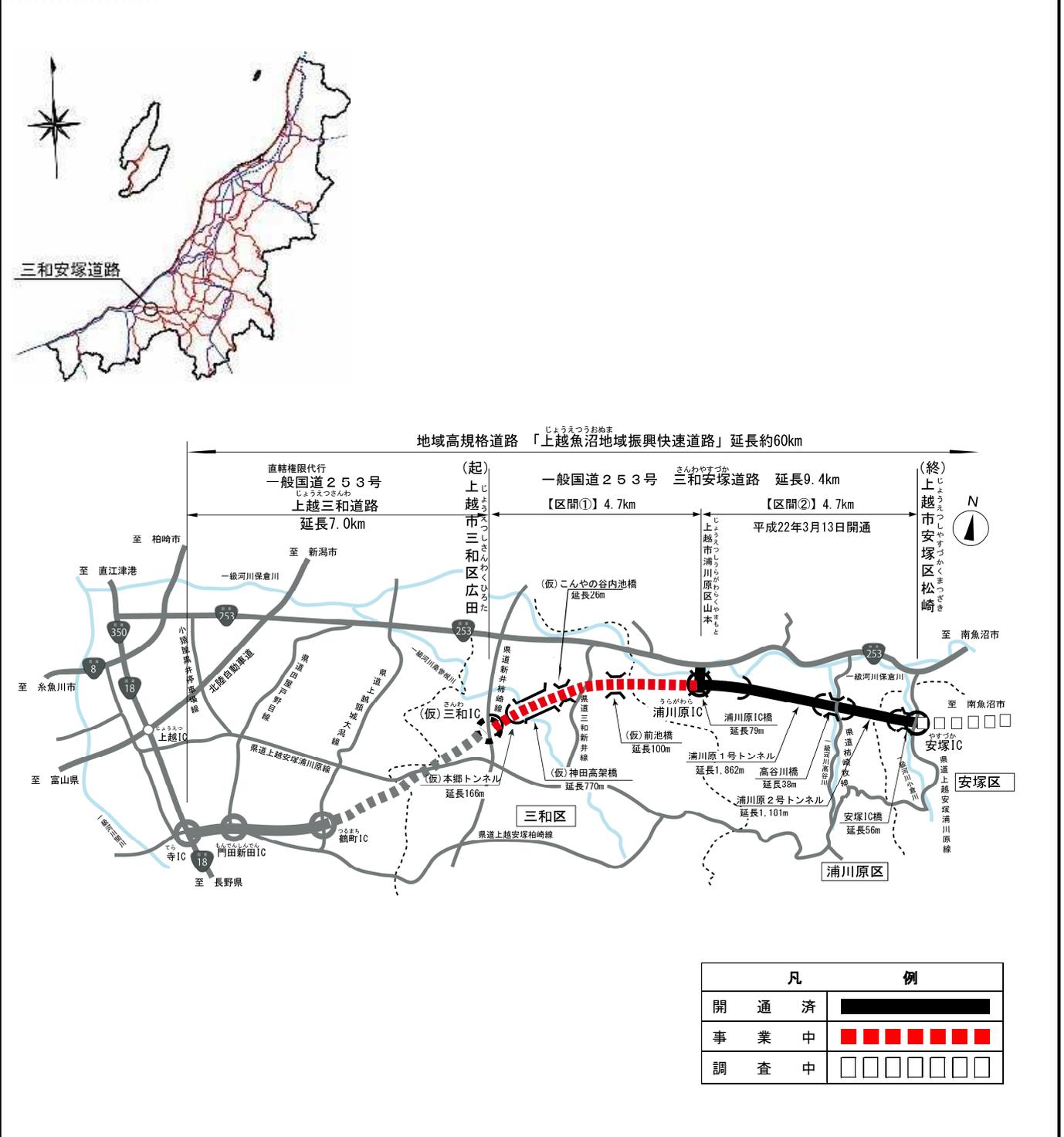
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。